

会 議 録

会議の名称	平成26年度第4回富士見市社会教育委員会会議
開催日時	平成26年9月20日（土）午前10時～12時
開催場所	市民福祉活動センターぱれっと 会議室2
出席者	高野昂子委員、西山ひろみ委員、児玉亮一委員、 武田秀規委員、田尻 円委員、長ヶ原美博委員、 本間雄一委員、千葉純平委員、小森和雄委員、 事務局（主査）
欠席者	岩村沢也委員
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議次第	<p>1. 社会教育関係者による懇談会</p> <p>(1) 自己紹介</p> <p>(2) 懇談会の趣旨について</p> <p>①今期（平成25年6月～平成27年5月）の活動の目的</p> <p>②今期終了までの目標値</p> <p>③今日の懇談会の目標値</p> <p>(3) 各団体からの現状と課題、要望等についての報告</p> <p>(4) 質疑応答</p> <p>①学校、②PTA、③家庭教育アドバイザー、④市教育相談室</p> <p>(5) 「モデル事業」についての検討</p> <p>(6) 「ホームページ」についての検討</p> <p>(7) 情報交換</p> <p>2. 報告及び連絡事項</p> <p>(1) 入間地区社教協7月・9月</p> <p>(2) 研修参加についての確認</p> <p>3. その他</p> <p>(1) その他</p> <p>*次回会議日程</p> <p>日時：平成26年10月を予定</p> <p>会場：教育委員会会議室</p>
会議資料	<p>① 社教連会報 ②研修案内「社会教育の役割と地域連携の構築に向けて」③研修案内「第38回人権を考える集い」 ④報告書「入間地区社教協7月」 ⑤報告書「入間地区社教協9月」 ⑥地域子ども教室報告書 ⑦難波田城だより（委員のみ） ⑧公民館だより（委員のみ）</p>
会議録確認	武田秀規委員

会 議 内 容 (要点記録)

◇ 開 会

◇会議資料について 事務局から、配布物確認を行う。

◇議長あいさつ

○ 報告及び協議事項

1. 社会教育関係者による懇談会

【事務局】 配布資料確認 ①本日の次第、②出席者一覧（欠席：16 番教育相談室専門員）③大人のためのピア・サポート養成講座について ④PTA側から、学校と課程教区の関わり方の現状と課題、要望など

【議長（武田氏）】

(1) 自己紹介

(2) 懇談会の趣旨について

【事務局】（説明）

- ① 今期（第29期：平成25年6月～平成27年5月）の活動の目的
親の学びや育ちを応援する学習機会の充実を図る。
- ② 今期終了までの目標値
市教育委員会へ提出する報告書を作成する。
- ③ 今日の懇談会の目標値
 - a. モデル事業のアイデアを出す。
 - b. 市ホームページの改良アイデアを出す。

【議 長】

今日は、より現場に近い、家庭教育アドバイザー・校長先生・PTAの皆さんにお話しを頂き具体的な計画を立てたい。

【学 校】

連携については昔から課題になっているが決定打がない。学習機会の充実は良いが、関心を寄せない保護者を、どう巻き込んでいくかが課題。どう育てたら良いか分からない保護者を支援してあげられれば良い。小学校の時から関わり、子育ての考えが染み込んで行けるように。困っている親は、子どもを叩いたり、子どもへの暴言が共通してある。学級懇談会の活用が良い。

【PTA】（PTA会長、副会長、会計、富士見台中保護者からヒアリングした内容）

1. 学校と家庭教育の関わり方についての現状と課題、要望など

意見1、PTAでも中学校になると学校に関わろうという意識が減る。モデル事業は小学校でやった方が良い。

意見2、子供への注意、助言、称賛の仕方について親に分からせたら良い。

意見3、家庭と学校は繋がりをもってなければいけないが、親としては学校へ入り難いところがある。

2、今後できそうな「親の学習」のモデル事業案

意見1、「家庭における、子供の学習姿勢の身につけ方」。家で何時間勉強する、姿勢よく勉強する、ゲームは何時まで、早寝早起きをする、生活リズムを身に着けるにはどうしたら良いか。

意見2、「子どもの言動にイライラしないで子育てする方法（親の心の持ち方）・子どもをうまくほめる方法」。気持ちのコントロールをしながら、どうやって上手くほめるのかを知りたい。

意見3、「相談できる相手・保護者同士の横の繋がりがもてる機会づくりの場」。サークル活動などで集まることで、保護者同士の横の繋がりが持てる。ストレス解消にもなる、他のお母さんのことを見る事で参考になる。

意見4、「家庭における子どもに対する携帯電話やインターネットのマナー・ルールの教え方」。トラブルに巻き込まれずにいかに使っていったらいいか。保護者もきちんと理解しながら子どもたちに接していく。

意見5、「そんなに好きか？ スキャンダル」～あげあし大好き、日本人～。情報の取捨選択の仕方、考え方を学ぶ。

最後は補足です。本当に参加して欲しい親は出てこない。どうやって伝えていくかが重要。先日、市と連携してジェネリック医薬品普及チラシを配布した。PTAなどの団体と協力していくことで効果があると思う。

3、市のホームページについては特に大きな意見は無かったが、子育てに関して一つ。

意見1、2学期に入ってもかなりの不審者情報が流れている。しかし学校区での情報で、横の繋がりが無い。「災害学校メール」があるでそこに不審者情報を入れていただきたい。

【家庭教育アドバイザー1】

適応指導教室の指導員をしている。その関係で就学時健診で保護者に講演をしている。ふじみ野市ではワークショップやPTA向けに「傾聴について」お話しした。就学時健診では子育てについて情報発信させていただくがこちらからの一方的な発信になってしまうのが課題だと思っている。大勢の輪に入って行けない方々を支えていくことがテーマだと思う。社会全体で困っている人たちを救い上げて行ければ良い。そういった人たちが集まってお互いの体験談とか共有できる場があれば良いと思う。

【家庭教育アドバイザー2】

地域の母子保健推進員を3年位前までしていた。母子保健推進員の仕事で、お母さん同士で友達を作ってもらう会がある。赤ちゃんを連れた方が、20～30人も見えたので驚いた。赤ちゃんを連れてまで友達を作りたいがっている。訪問でも「何処のスーパーに行かれますか？何処の病院に掛かりますか？」と聞かれたりすることがある。それくらい、色々な情報を知りたいがっている。学級懇談会はもっともっと活用していくのが良いと思う。

母子保健推進員をやっていると苦情を言われることも多くある。ボランティアで一生懸命やっている人たちをフォローするシステムが必要。

【家庭教育アドバイザー 3】

現場を離れてから 18 年たつので、個人的に関わっている子のことについて話します。集団行動が出来ない子がいて担任と母親の関係が上手くいかなかったことや、色々あったので私立に進学した。そういった子供でも学校生活が安心して出来るような場所があればいいなと思っている。

【市教育相談室】

教育相談室は子供・保護者・先生からの相談、先生への研修支援、保護者や市民への学習支援、不登校児やその保護者へ居場所の提供や学習支援や体験活動。不登校を生み出さない活動や調査研究を行っている。今後、連携が図れたら良いと思う。

① 「大人のためのピア・サポーター養成講座」。

今年度から、小・中・特別支援学校で、少しずつ取り組んでいる。ピア・サポートとは、思いやりを持って、互いに支え合いながら課題をクリアできるようになる事を目的にしている。神奈川県藤枝市では小学校で行っており、町会からも「私たちもこのことについて学ばないと子どもの見守りが出来ない」との声が上がり、各町会でピア・サポートのトレーニングを行ったところ、学校・家庭・地域がリンクして活動が促進した。まずは学校での取り組みを理解してもらうことが目的だが、もう一つは地域課題を手を取り合いながら解決していける人間関係づくりのお手伝いをしたい。

② 「教育に関する親子意識調査」

3年に1回の実施。市内児童・生徒半数と、その保護者に対してアンケートを実施。平成 25 年実施調査の集計分析も終了した。今回の調査で見えてきたのは、前回に比べて、中学生の人間関係がある程度良好に取れるようになってきた。平成 22 年度と比べると若干数値は良くなってきた。反対に学年が上がるにつれて、親と子の意識のズレが拡大していくところも見受けられる。例えば子供の体温についての質問で、子ども達は自分の体温は 35 度台であると答えている子が多かった、ところが保護者は 36 度台であるという方が多かったんです。これは中学の方が差が大きかった。

教育相談室としては、以上の取組で保護者等へ支援に当たりたい。

【PTA】

この事業はすぐに実施するのか？それとも計画を練って実施するのか？

【議長】

このメンバーだけで年度内にやるのは難しい。提言という形で教育委員会に報告書を提出する。次期の社会教育委員会議で検証するやり方もあると思う。報告書には実現可能なものを載せる。今日は具体的なご意見をいただきたい。

【委員】

不審者対策が心配。神戸の事件があり保護者は不安になっている。

【校長先生】

全小学校で、学校の緊急の配信メールのシステムを取り入れている。市P連では、不審者情報を各学校に提供している。中学校は、子どもに「やめて！」と大きな声を出す訓練をさせたり、捕まれたらもがく訓練をすることが大事だと思う。当然学校では集団下校等やっているが、いざと言う時にどうするか判断力をつけるように教えなければならない。

【議 長】

現場の皆さんは何を求めているのか、現実的な問題という話をしていきたい。

【事務局】

配付している紙に書いてください。今日出たものを社会教育委員会議に持ち帰り確認させていただく。

【事務局】

では、紹介します。(アイデアは別紙)

【家庭教育アドバイザー】

この集まりは今回だけか。

【事務局】

こ懇談会の予定はない。社会教育委員会議は傍聴も可能なので、オブザーバーとして同席頂くことは可能。

【家庭教育アドバイザー】

学校といっても、小学校・中学校では全く違うので、1本でこれというのは難しいと思う。

【事務局】

社会教育委員会議にもオブザーバーとしてご出席いただければ有難い。

【PTA】

これだけ皆の思いがあるので、講演会で終わり、ということはやめて頂きたい。

【議 長】

アイデアは社会教育委員会議に参加できなくても生涯学習課に提出いただければ良い。継続的に取組むことが大事だし、保護者の皆さんが集って、話合って決めていくプロセスが大事だと思う。また何かあればご意見をいただきたい。

【事務局】

つづいて、ホームページについてご意見を付箋にお書きください。

【議 長】

市のホームページは、私から見て縦割りに感じる。学校内情報・生涯学習情報・スポーツ関係と。それらが、就学時前・乳幼児期の情報が、幼稚園・学校・母子保健というように、横に繋がらないかと思う。(アイデアは別紙)

【委 員】

先ほど調査で子供と親御さんの体温の話が出たが、どういうこと？

【教育相談室】

子どもと親へは別々にアンケートをしており、子どもの体温が本人の認識では 35 度台であるのに、親の認識では 36 度台ということ。

【委 員】

親が子どもの体温を知らないということ？大きくなったからその位の体温があつてしかるべきということ？

【教育相談室】

いろいろな見方ができるが、親は、当たり前のように 36 度台だろうという認識があるが、実際は 35 度台。プールの時には必ずカードに体温を書いて持って行くので、親が目を通していないのかも知れない。いずれにしても、アンケートの回答上は、子どもの認識と親の認識にズレがあるということです。

【家庭教育アドバイザー】

プールは、カードがないと入水できないので自分で体温を測る。通常は、親が確認するが、朝の忙しい中で子ども任せになっている場合があるかもしれない。認識にズレがあるということは、子どもに対する意識が薄れていたり、親子のコミュニケーションが薄れているなど、心配のひとつとして上げられる。

【家庭教育アドバイザー】

今は低体温が問題。体温が高いことにより免疫力が高まるが、手足が冷たい等が実際にある。この原因は食事、クーラーや生活リズムが狂っていて代謝が調節できないなどのメッセージだと思う。そこの親子の認識が問題だと思う。

【委 員】

今日は、外部の団体に来ていただいた事により答えに近づいた感じがある。機会があれば来ていただき、実践と振り返りの継続をすれば充実した会議になると思う。

【委 員】

週刊誌情報ですが、集まりを持つ事で、AとBのグループが出来て対立する可能性があるらしい。マイナスにならないければ良いが。

【P T A】

100%賛同していただけることは無いと思っている。P T Aで感じるところ。

【議 長】

人間はひとつの輪の中で生きている訳ではなく、複数の顔がある。逆に、集まりが複数あれば交われる状況も増える。そういう今までなかった機会を作ることが大事。なかなか輪に入れない人に、大きい輪は入れないが、小さい輪は入り易いなどもある。そこで新しい関係が出来ればいい。

【事務局】

4. 報告及び連絡事項

(1) 入間地区社教協 7月・9月

小森・長ヶ原さんが出席。小森さんから報告。

*7月12日のメインテーマは、今年の入間地区の社会教育関係の研修会をどうするか。多くの地域で委員が代わっていることが特徴です。

*9月12日は、10月10日の研修会について。役割分担がほとんどです。情報交換の中で、ここのテーマと関係ありそうなものが、川越市が子どもを中心とした提言をすることが決まった。アンケートをすることなので、我々も注目すべきかなと思いました。入間市が社会教育計画が大詰めにいったとのこと。どのような内容かもう少し分かってきたら聞く必要があるかと思います。三芳町は、世界農業遺産に向けての動きがある。

(2) 研修参加についての確認

*平成26年度社会教育委員研修会（10月10日）：小森さん・長ヶ原さん・田尻さんが出席。

他に参加したい方は申し出を。

*第38回人権を考える集い（10月31日）：社会教育委員2名の出席をお願いしたい。西山さん・高野さん

(3) 情報交換

小森さん：文化財審議委員会は富士見市の文化財の登録リスト作りをしている。

5 その他

*次回の日程は、10月14日（火）午後7時からとする。

6 閉会

【副議長】

今日は、たくさんの貴重なご意見をありがとうございました。今日頂いたご意見を、実際に実施できる形として教育委員会に、提言していく形で纏めていければと思います。今後共ご協力をお願いします。本日はありがとうございました。

(閉会)